

季節を彩るおもてなしを ～名張市旧細川邸「やなせ宿」の取組～

まちなか運営協議会 / 名張市

手づくり郷土賞について

講評

一般部門

大賞部門

資料集

名張市内を流れる名張川と宇陀川^{うだがわ}の合流点に近接する旧細川邸「やなせ宿」は、江戸時代末期から明治初期に建てられた町屋を、観光交流施設として改修した施設です（平成21年1月国有形登録文化財に指定）。前面には初瀬街道^{はつせ}が通じ、江戸時代に宿場町として栄えた風情を残しており、隠街道市などの様々な活動拠点にもなっています。

名張地区は歴史的なまちなみや伝統行事といった歴史文化資源や、築瀬水路や名張川などの豊かな水辺空間に恵まれています。一方で過疎化・空洞化が大きな課題となっています。こうした背景のもと、名張地区の既成市街地の再生を目指し平成17年に市民、事業者、各種団体、行政など多様な主体がメンバーとなって「名張まちなか再生プラン」が策定されました。この中で旧細川邸の改修が位置づけられ、まちなか運営協議会による名張地区の歴史文化資源、豊かな水辺空間を活かした「やなせ宿」の運営がスタートしました。

施設の運営や活動に関わる人の多くが地元の人であったことから、やなせ宿の活動が早期に地域に定着し、理解が得られることに繋がりました。施設が親水性に優れる利点を最大限に活用すべく、名張川漁業協同組合や河川レンジャーとの連携による水生生物調査やホテルの再生、親子釣り体験教室、地元園児たちによる稚鮎の放流体験など市民参加型イベントを数多く開催しています。

また、市民が日替わりでシェフとなるワンディレ스토랑事業は、起業前に腕を磨くチャレンジショップとしても活用され、起業した店舗も6軒を数えています。その他、地域活動・生涯学習のための貸館事業、まち歩きの休憩所、市民の憩いの場となる喫茶の運営を実施し、平成20年のオープン以来、年50日以上イベントが開催され、毎年約2万人が来館しています。やなせ宿が市民の交流、活躍、憩いの拠点となり、地域を愛して感謝するおもてなしの取り組みが広がっています。



やなせ宿
江戸～明治時代の町屋建築を改修



目指せ開業
ワンディレ스토랑事業

餅のふるまい
常におもてなしの心を
忘れずに



河川レンジャーとの連携による生物観察



地域の人を講師として迎えるホテルの鑑賞会

- ◆所在地
三重県名張市新町136番地
- ◆活動内容
やなせ親子塾、やなせ宿教室、
環境学習（水生生物調査、ホテル再生、ミニ水族館事業）
稚鮎放流体験、各種祭りの運営、ワンディレ스토랑事業
貸館事業、喫茶の運営
- ◆活動主体及び連絡先
まちなか運営協議会（0595-62-7760）
- ◆対象となる社会資本
名張市旧細川邸「やなせ宿」

